



真鶴中学校だより 第二七二号

鶴からの手紙

2024
12.23
責任者
市川 麻美

令和6年も
暮れていきます・・・

二〇二四年は『制限のない学校生活』となつての一年だったわけですが、皆さんにとってこの一年はどのような年だったのでしょうか？十二月二十四日で、二学期終了です。今年度も三分の二が終わります。是非、いろいろな側面から自分を振り返ってみてください。楽しかったこと、苦しかったこと、悲しかったこと・・・いろいろあることでしょう。それでも、中学生である皆さんにとっては、すべてが次につながるかけがえのない経験です。決して無駄にはなりません。だからこそ、その経験を自分の力にしてください。

一昨年からのこの時期のお便りで取り上げた『今年の漢字』、『漢検』が主催しているのですが、今年で三〇回だそうです。そして今年は『金』でした。二〇二二年以来五回め、オリンピックイヤーには、選出されますね。ただ、残念ながらお金にまつわるよくない事件も多かったこともあり、今年は、元日から能登半島地震

もありました。災害に対する備えも忘れずに新年を迎えたいところです。

ところで、漢字つながり・・・『明珠在掌』、『みようじゅ、たなごころにあり』と読みます。誰でも価値ある美しい宝石（＝個性・能力）を持って生まれているから、早く自ら気づいてそれを磨くとよい・・・情報あふれる現代社会、それには自分自身や周りの人間関係・家族を見つめてはどうかということかもしれません。お寺の本堂登り口によくある『脚下照顧』とは、履き物をそろえてくださいという意味（本校ではトイレのサンダルをそろえようとお願ひしていますね）ですが、本来『自分を省みること』を忘れるな』という意味です。残り少ない今年、是非そんな言葉を胸に、過ごしてみてください。

新入大会デビュー戦を終えて

九月から十一月にかけて、中体連主催の新入大会が行われていました。三年生が引退し、新しいチームにな

って初めての大会でしたが、本校からは、サッカー部、バレーボール部、バスケットボール部が参加し、健闘しました。

各部の代表の感想を紹介します。

〈サッカー部〉



県西ブロック大会初戦は千代中。一番当たりたくない相手と当たってしまったので、一周回ってみんな笑ってしまっていた。大会当日は「楽しんで

サッカーをして、できる限りのことをやろう。」という気持ちでいた。

結果は〇―五。思いっきり負けた。でも得られたものもあった。例えば、一人ひとりの課題が見えたことだ。この課題が見えたことで、さらによいサッカーを実現するための道筋ができたな、と思った。次の大会まで残り四ヶ月ほどの時間がある。この時間を必ず有意義なものにし、次の大会では満足できる結果を残したい。

二年一組 佐藤 蓮来

〈バレーボール部〉

私たちバレーボール部は十月二十六日に千代中学校と対戦しました。



箱根中学校の先生からアドバイスを受け、相手のシュートを防いで自分たちの攻撃に繋げることができました。結果としては負け

私たちの新入大会の目標は「一勝すること」でしたが、達成することはできず試合結果は〇―二と負けてしまいました。なのでこの悔しさをバネに次の春の大会の目標「シード権獲得」に向けて、これからモチベーションが下がってしまいがちな時期ですが、バレーボール部のみんなで鼓舞し合いながら日々練習に精一杯励んでいきたいと思っています。



また、保護者の皆様、学校の先生方その他応援に来てくださった皆様、本当にありがとうございました。

二年一組 大和田 千晴

〈バスケットボール部〉

今回の大会は、真鶴・相洋・箱根の三校合同チームで出場しました。

試合を通して一人ひとりがプレーに集中できていました。試合の中で

が、今までの自分たちと比べてすぐ成長できていると感じることができた大会になりました。

次回の大会は三月に控えているので、その大会までに全力を尽くして一勝できるように頑張ります。

一年一組 鈴木 瑛海

薬物防止講演会

十一月十五日、三年生では薬物乱用防止講演会が実施されました。講師の健康教育アドバイザー、安藤晴敏先生のお話から、薬物乱用の現状、からだや心・社会に及ぼす影響について学びました。



〈生徒の感想より〉

授業で習うだけではわからない薬物の怖さや知識を得ることができました。

健康被害を知りながら乱用をしてしまうのにはさまざまなきっかけがあり、防ぐために拒否する立ち去るをわすれないようにしたいです。

三年一組 春原 朝陽

自分もそういうことをやってしまいかもしれないと身近に感じることでできました。より一層気をつけたいいけないなと思いました。

三年一組 宮下 美優

薬物がダメとわかっててもやってしまう人がいるという現状があるため、小学校や中学校でやってはいけない、体に害という事を学んだ上やってしまうということになる。

だからこそ、私は自分自身の事はもちろん管理したいし、できる限り身近にそういう人がいるのなら、助けてあげたいなと思いました。

三年一組 鈴木 煌慧

家庭科調理実習

三年生は十二月三日に、二年生は四日と十三日に、家庭科調理実習がありました。メニューは

三年生：豚肉ともやしの蒸し物、切り干し大根と油揚げの味噌汁、ご



飯（災害時に役立つご飯の炊き方）
二年生：①切り干し大根の味噌汁、ほうれん草のごまあえ、②あじの蒲焼きです。

みんなのエプロンと三角巾姿、なかなか似合っていました。ぜひお家でもやってみてください！

二年生

職業体験学習報告会



十二月十一日は、二年生の総合学習で、職業体験学習の報告会を行いました。十月の職業体験で学んだ事をスライドにまとめ、一人ひとりが発表しました。一日限りの体験でしたが、多くのことを学ぶことができたようです。今後の生活、また進路探求に生かしていきます。

生徒会シンボルマーク！

新しい生徒会シンボルマークデザインは3年中込こゆきさんの作品が選ばれました！



楽しく安全に活動するために

小春日和に、グラウンドから生徒たちの楽しげな声が聞こえてきました。

職員室からのぞいてみると体育でティーボールの授業が行われていました。

ティーボールとは野球やソフトボールのルールを簡単にしたもので、止まったボールを打つことから始まるので、未経験でも楽しむことができるスポーツです。

グラウンドではいくつかのチームに分かれてゲームを行っていましたが、みんな一生懸命、お互いに声をかけ合いながらプレイしていました。

楽しく活動するためには「安全であること」が大前提です。バッターから安全に離れるための円を書く、ボールをのせるコーンをチェックする、また教員の他に支援員も一緒に見守りながら、安全面に配慮して実施しています。

